

英語で話してみたい!!

山紫海碧



本校のほとんどの小学生が、そう思ったことでしょう。
 二十二日(月)香港の私立小
 学校セント・マーガレット校の
 十才から十二才までの小学生十
 七名が国際交流活動の一環とし
 て有銘校に來校しました。
 NPO法人東村観光推進協議
 会が窓口となり、二十日から二
 十五日まで東村に滞在し、有銘
 校での交流授業をはじめ、エコ
 パークさんの自然体験、農家
 での民泊体験活動を行っていま
 す。
 早速、体育館にて歓迎会を開
 きました。

「ミルコムナリ」で歓迎する
 と、マーガレット校は日本語に
 よる合唱で返してくれました。
 東村や香港の紹介が終わり、ジ
 ャンケン列車で盛り上がったと
 ころで、もう少し遊びたい余韻
 を残しつつ、教室へ移動。
 教室では、瑞季先生クラスと
 かおる先生クラスに入り、自己
 紹介・アイスブレイクで緊張を
 ほぐしてから、授業に入りました。
 マーガレット校の皆さんは、
 自分で書いた日本語の自己紹介
 文をていねいに日本語で発表
 し、文字もとても上手でした。
 マーガレット校では、授業の
 ほとんどが英語で行われ、家庭
 では広東語で話し、日本語を学



有銘幼小中学校
 学校通り 62号
 山紫に海碧く
 H27.6.26



再見!!

学校なんです。なんとも進んでいる
 給食はなく、各自で弁当持参の
 のこと。また、清掃もないよう
 で、教室やトイレは有銘校の方が
 きれいとのことでした。
 習字の授業は、香港ではあまり
 時間をかけていないのかもしれない
 せん。意外でした。



高学年の体育は、体育館でソフトバ
 ーボールを楽しみました。涼太先生
 によると、子ども達は理解が早く、す
 くにプレーができていたと振り返って
 いました。
 給食をみんなで味わい、午後は触感
 が楽しい人形作り(三・四年)やフェ
 ルトとしゅうのネームプレートづく
 り(五・六年)を楽しみ、お土産がで
 きたようです。
 引率教諭のエミリー先生によると香
 港では共働きの家庭が多く、家庭での
 食事・掃除などは、ヘルパーさんが担
 当すること。平均的な家庭でもヘ
 ルパーさんがいるらしいです。



マ校は、交流を受け入れており、職
 員住宅や民家での宿泊も可能で、食
 費とチケット、バスポートがあれば
 良いとのこと。昨年は糸満市の米須
 小学校さんの児童十三名がマ校で交
 流したようです。友だちいっぱい
 の国際交流日でした。多謝、再見。

